

株式会社セレスポ 会社説明資料

2019年12月
株式会社セレスポ
(証券コード：9625)

セレスポ

© 2019 CERESPO CO., LTD.

1. 会社概要

2. 事業概要

3. 2020年3月期第2四半期決算説明および通期業績見込み

4. 中期経営計画Ⅳの実施策

参考情報

※ 本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。さまざまな変化によって実際の業績と記述内容が異なる可能性があります。将来予測に関する記述に全面的に依拠することのないよう、ご注意ください。

※ 金額等数値は表示単位未満切り捨て、比率は小数点第一位未満を四捨五入で表示しております。

1. 会社概要

社名の由来	セレスポ (CERESPO) = Ceremony & Sports
設立年月日	1977年7月21日
事業領域	イベント、スポーツ大会、プロモーション、式典、レクリエーション
事業内容	企画、制作、会場設営、運営、進行

- 社名の由来は「セレモニー・アンド・スポーツ」を省略したものだが、実際にありとあらゆる種類のイベント、スポーツ大会などを受注しています。
- 創業40年が経過し、今ではイベントやスポーツの世界では知名度を獲得しています。

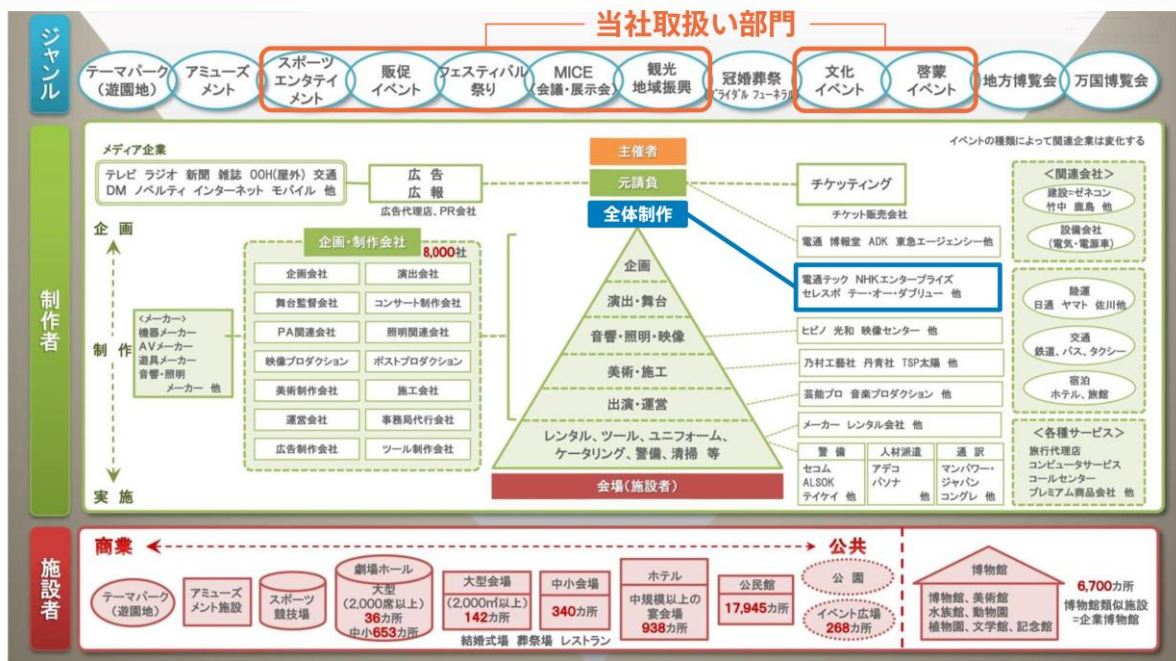
経営理念

イベントを通じて
自らを含む周囲の幸福を
実現し、笑顔のある明るい
社会づくりに貢献する。



© 2019 CERESPO CO., LTD.

- 当社は、創業してからの30年間は、「裏方に徹する」という経営理念でしたが、2008年に私が社長になった際にそれを改めました。
- 裏も表も大切にしてステークホルダーと積極的に交流しようという考えです。
- 自分たちから先に周囲にメリットを提供して、その自然な見返りを期待して、幸福の連鎖を作るという考え方です。



目白大学 岡星教授作成による業界マップを基に説明

© 2019 CERESPO CO., LTD.

- この図は、イベント業界の全体像を表しています。
(原図の作成はイベント学を研究されている、目白大学の岡星教授)
- 一番上のジャンルのところで四角く囲んである部分が、当社が扱っている業務になります。
- 当社の役割は全体制作であり、イベント制作に必要な各種機能を束ねてイベントを実施できると位置づけられています。
- 2018年の国内イベント関連消費額は17兆円ほどです。 出典：(一社)日本イベント産業振興協会「平成30年国内イベント消費規模推計」
- 今後、さらに成長することが予測されています。

日本全国にイベントを届けます

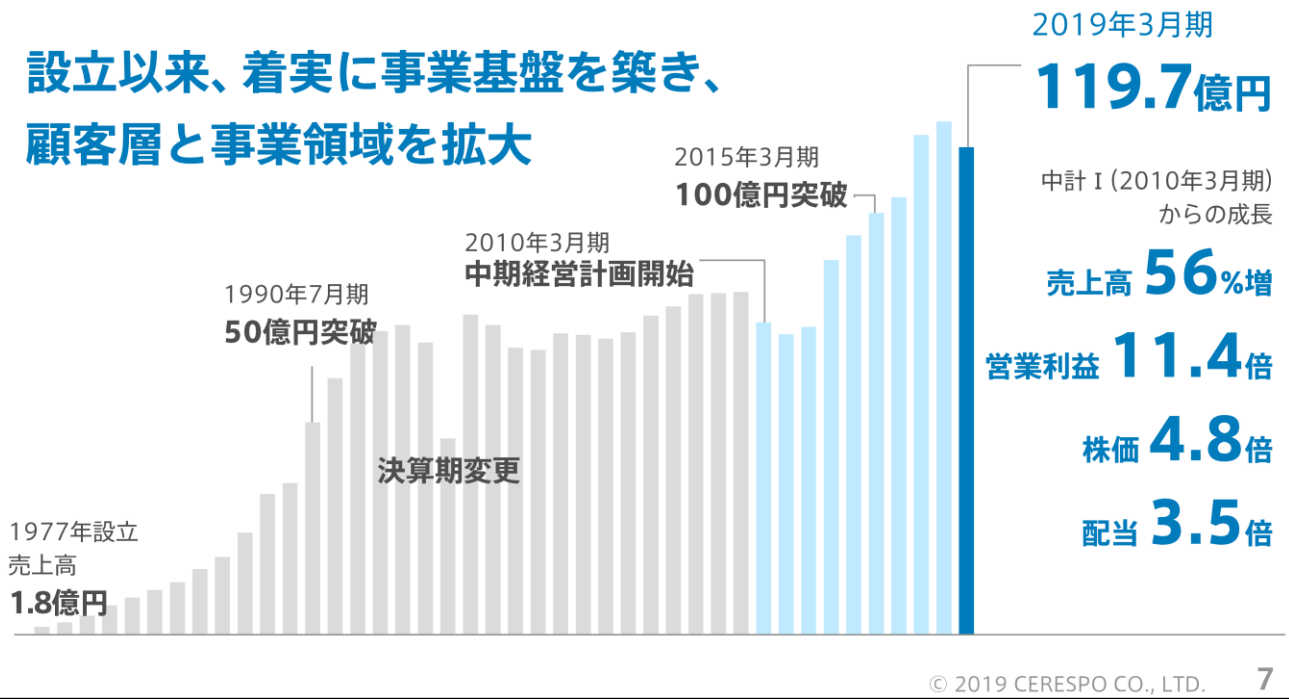
事業内容



© 2019 CERESPO CO., LTD.

- 当社の特徴の一つは、全国展開していることで、全国を巡回する大型案件を取りやすくなっています。
- もう一つは、「一社ですべての業務を行うので精度が高く効率がよい」ことが挙げられます。

設立以来、着実に事業基盤を築き、 顧客層と事業領域を拡大

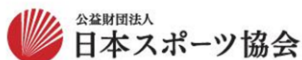


- このグラフは創業以来の売上高の推移です。
- 2008年のリーマンショック後、業績は低迷したが、それをきっかけに経営理念を変えて、2010年からは3年毎に中期経営計画を作成するようになりました。
- この数年、いろいろと新しいことにトライしており、スポーツビジネスへの参入もその一環です。

2. 事業概要

	基本事業	スポーツ事業	競争事業
概要	各営業拠点が担当する、様々なイベント領域	中央競技団体等が開催するスポーツ・競技に関するイベント領域	皇室ご臨席行事を中心とした、全国持ち回りで開催されるイベント領域
主なイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設式典 ・ 記念式典 ・ 地域振興イベント ・ 文化イベント ・ プロモーションイベントなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本陸上選手権、 ・ トライアスロン大会 ・ Vリーグ ・ 日本女子ソフトボールリーグ など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民体育大会 ・ 全国高校総体 ・ 植樹祭 ・ 育樹祭など

- **基本事業**：ほぼすべての営業拠点において扱うことのできるもので、建設式典や、地域振興イベント、プロモーションイベントなどが含まれます。売上全体に占めるシェアは80%です。
- **スポーツ事業**：中央競技団体などが開催するスポーツ・競技に関するイベントです。競技団体との良好な関係を構築するために協賛、つまりスポンサーとなることもあります。
- **競争事業**：皇族がご臨席されて全国持ち回りで開催されるものです。例えば、国民体育大会、全国高校総体、全国植樹祭、育樹祭などのことです。



(公財) 日本スポーツ協会



(公財) 日本陸上競技連盟



(公社) 日本トライアスロン連合



(一社) 日本バレーボールリーグ機構



(一社) パラ陸上競技連盟



(公財) 日本ハンドボールリーグ協会



日本ハンドボールリーグ機構



日本女子ソフトボールリーグ機構



(公社) 日本ボート協会



(公財) 横浜市体育協会

スポンサーシップの主な効果

- 協賛先団体との関係強化
- 市場拡大に向けた共創機会の獲得
- スポーツ分野におけるポジション強化
- ブランド力の向上

© 2019 CERESPO CO., LTD. 10

- 2019年12月現在のスポンサーシップの相手先は、10団体です。
- これらの競技団体とはパイプを太くし、さらに新たな団体と望ましいかたちで協賛関係を築けるようでしたら、積極的に増やしていきます。

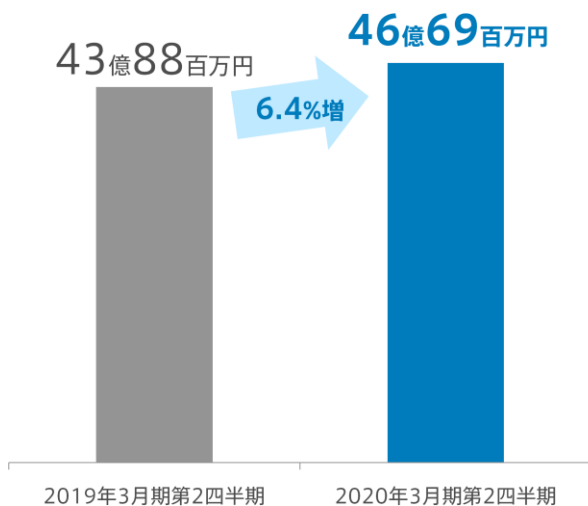
3. 2020年3月期第2四半期決算説明および通期業績見込み

1. 決算のポイント

- 売上と各段階での利益はすべて前期を大幅に上回る。
- 外注費等の原価は上昇したが、売上が大きく増加したことで販管費率が下がり、営業利益は大きく増加

2. 経営成績

	2019年3月期	2020年3月期	増減額	主な増減要因
売上高	5,287	8,113	2,826	スポーツ事業・競争事業を中心に、大型案件が増加
営業利益	35	703	667	外注費等の原価は上昇したが、売上が大きく増加したことで販管費率が下がり営業利益は大きく増加
経常利益	40	710	669	
四半期純利益	8	488	480	



主なポイント

- ・ フェスティバルの大型案件の規模が縮小
- ・ 選挙、防災関連と建設式典の大型案件の受注数の増加

業績変動要因

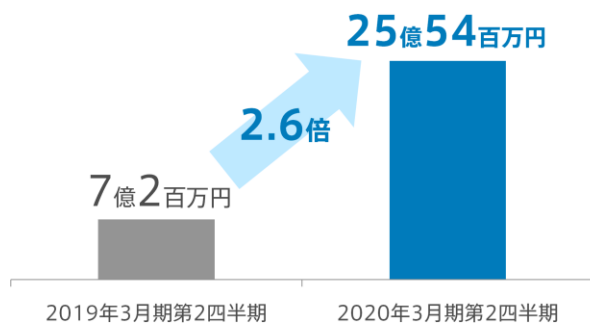
- ・ 地方創生に基づいた地域活性化やインバウンド観光振興の動向
- ・ スポーツを通じた健康増進施策におけるイベント活用の動向

主なポイント

- ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックのテストイベント等、国際的スポーツ大会等の大型案件の増加

業績変動要因

- 東京オリンピック・パラリンピック関連の受注動向
- 国際大会の国内開催状況

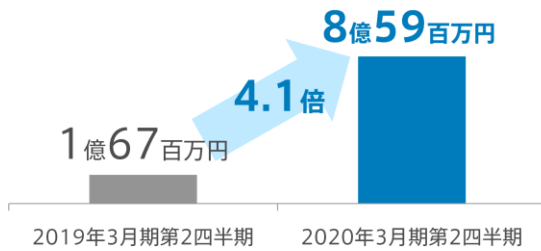


主なポイント

- 大型入札案件の受注額が増加

業績変動要因

- 皇室ご臨席行事の受注動向
- 競合他社の活動状況



単位：百万円
下段は対売上高比

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	5,287	8,113	2,826	53.5%
売上原価	3,635 68.8%	5,681 70.0%	2,045	56.3% 1.2pt
売上総利益	1,651 31.2%	2,432 30.0%	780	47.3% △1.2pt
販売費及び一般管理費	1,616 30.6%	1,729 21.3%	113	7.0% △9.3pt
営業利益	35 0.7%	703 8.7%	667	1889.3% 8.0pt
経常利益	40 0.8%	710 8.7%	669	1,647.4% 7.9pt
当期期純利益	8 0.2%	488 6.0%	480	5,470.9% 5.8pt

単位：百万円	前第2四半期 会計期間 (2018年9月30日)	当第2四半期 会計期間 (2019年9月30日)	増減		(参考)前事業年度 (2018年3月31日)
			額	率	
資産の部					
流動資産	3,918	6,416	2,498	63.8%	3,266
固定資産	4,537	4,492	-45	-1.0%	4,558
資産合計	8,455	10,908	2,452	29.0%	7,825
負債の部					
流動負債	3,406	4,994	1,588	46.6%	2,268
固定負債	237	418	180	76.0%	453
負債合計	3,643	5,413	1,769	48.5%	2,722
純資産の部					
株主資本	4,803	5,493	689	14.3%	5,103
純資産合計	4,811	5,495	683	14.2%	5,102
負債純資産合計	8,455	10,908	2,452	29.0%	7,825
自己資本比率	56.9%	50.3%		-6.6pt	65.2%

© 2018 CERESPO CO., LTD. 17

- 前期比での変化は、流動資産の増加です。中味を見ると「受取手形及び売掛金」「未成請負契約支出金」が増加しています。これに伴い、短期借入金を増やしたことで、流動負債も増加しました。
- 自己資本比率は50.3%となりましたが問題はありません。

単位：百万円 下段は対売上高比	2019年3月期	2020年3月期	増減	増減率
売上高	11,975	13,200	1,225	10.2%
営業利益	474 4.0%	600 4.5%	126 0.5pt	26.4%
経常利益	485 4.1%	610 4.6%	125 0.5pt	25.6%
当期純利益	308 2.6%	390 3.0%	82 0.4pt	26.2%

単位：円

配当額	42	43	1	2.4%
配当性向	37.3%	30.7%	△6.6pt	

© 2019 CERESPO CO., LTD. 18

- 2020年3月期業績について、現在の予想は売上高132億円、営業利益6億円としています。
- 第2四半期までの推移を見ると、通期の業績については大きな問題はないと思われます。
- ただし、当社の業績に最も大きなインパクトを与えるのは第3四半期です。この期間の業績推移を見極めてから、計画変更の必要性が発生した際にはWebサイト、TDnet等で適時情報を開示していきます。

3. 中期経営計画Ⅳの実施策

1. 業績目標

			中期経営計画III	中期経営計画IV		
			2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
主要 業績指標	売上高	百万円	12,607	11,975	13,200	16,000
	営業利益	百万円	593	474	600	800
	売上高営業利益率	%	4.7	4.0	4.5	5.0
	当期純利益	百万円	379	308	390	500
収益性	ROE (自己資本当期利益率)	%	8.0	6.2	8.0	9.5
	EPS (1株当たり当期純利益)	円	138.35	112.46	141.56	180.00

2. 株主還元方針

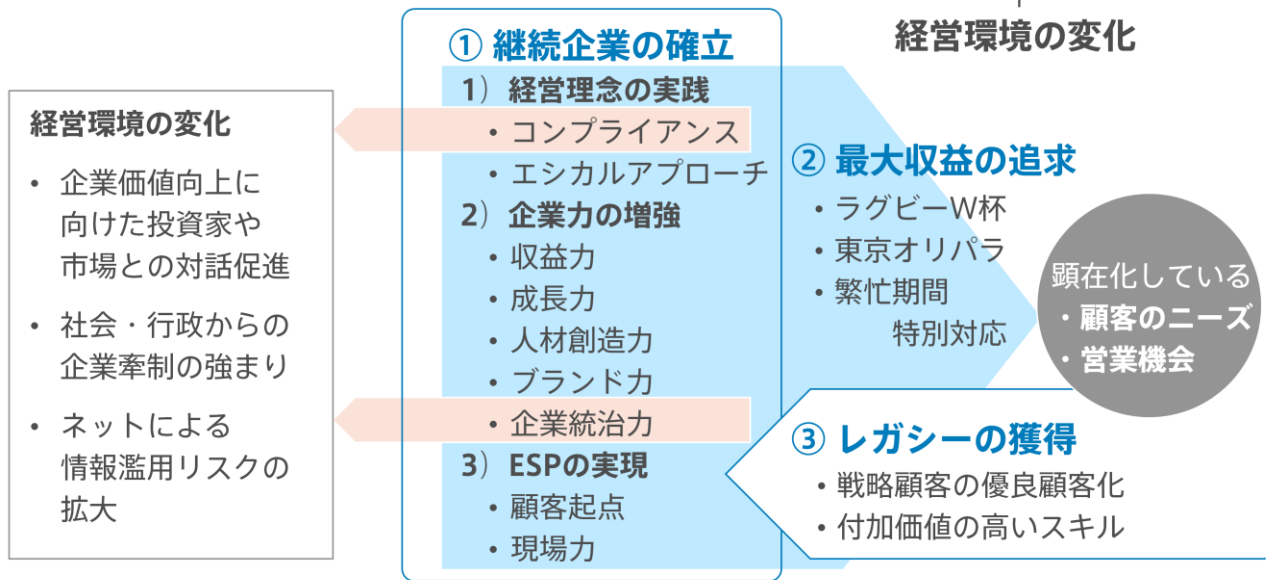
「安定配当」を基本とし、利益成長と共に継続的な増配を目指す。

© 2019 CERESPO CO., LTD. 20

- 中期経営計画は3年刻みで策定してきており、今回が第四次となります。
- 2021年3月期が最終年度なので、ちょうどラグビーワールドカップおよびオリンピック・パラリンピックがこの計画の期間に入ります。
- 扱う案件数、業務量がかなり膨らむことが予想されており、最終年度では売上160億円、営業利益8億円という大きな目標を掲げています。

① 継続企業の確立、② 最大収益の追求、③ レガシーの獲得

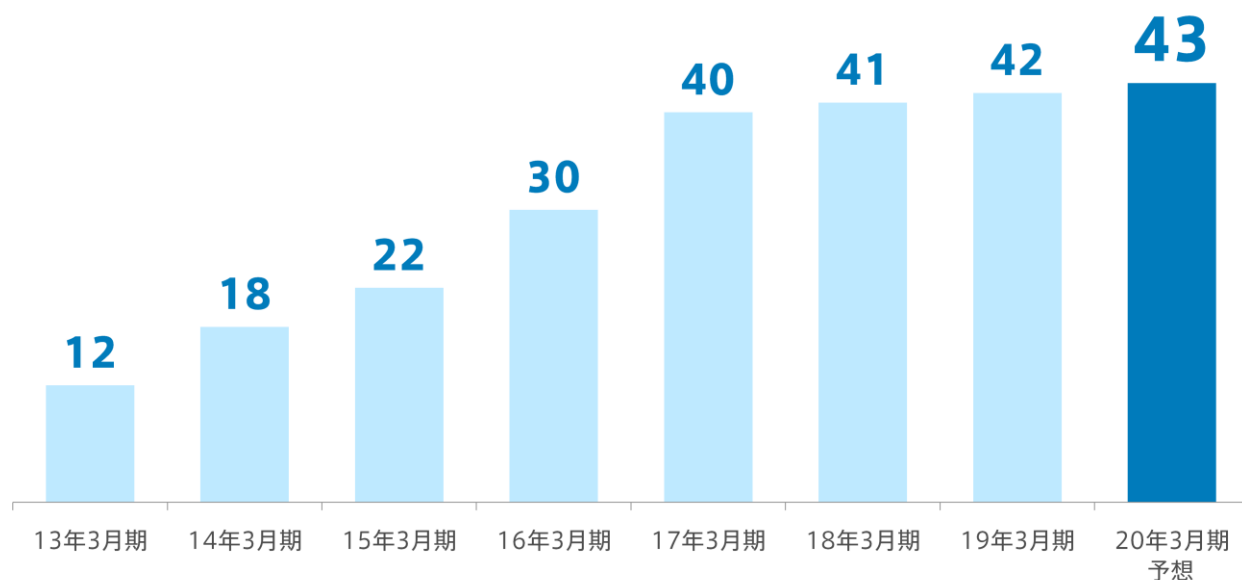
+
経営環境の変化



© 2019 CERESPO CO., LTD. 21

- このチャートは中計Ⅳの全体観を示したものです。計画の骨格を形成する三つの柱として、1. 継続企業の確立、2. 最大収益の追求、3. レガシーの獲得を立てました。
- 継続企業を確立するためには、①経営理念の実践 ②企業力の増強 ③ESPの実現というアプローチを設定し、さらにそれぞれの題目の下に具体策を設定しています。
- 最大収益の追求は、中計Ⅳの期間中に開催される、スポーツのメガイイベントを主なターゲットとしてできるかぎりの収益をあげるといった内容です。
- レガシーの獲得は、当社が2021年以降の成長を実現するための鍵となるものです。
- 一つには、スポーツの中央競技団体や大手広告代理店とのパイプを増やし優良顧客を増やすことで、もう一つは、スポーツの国際大会の運営を経験することで、対応力を向上させるという想定です。
- 既に世界リレー大会、ラグビーワールドカップを経験したことで、今までになかったスキルとナレッジ、そして自信を身に付けました。

単位：円



※2016年10月1日付で2株を1株に併合しているため、各事業年度の期初に併合したものととして算出

© 2019 CERESPO CO., LTD. 22

- 当社は配当を株主還元の最も重要な施策と位置づけ、今後も安定的に、なおかつ、なるべく多く配当できるようにしていきます。
- 2020年3月期については前期比1円増配の43円と予想しておりますが、今後、業績の推移を見極めて最終的に判断をいたします。
- また、株主優待に対しては、株主の方からのご意見も参考にしながら、現在鋭意検討中です。

参考情報

商号	株式会社セレスポ (英文社名 : CERESPO CO., LTD.)		
証券コード	9625		
本社所在地	東京都豊島区北大塚1-21-5		
設立年月日	1977年7月21日	資本金	13億7,067万円
事業分野	イベント、スポーツ大会、プロモーション、式典、レクリエーション		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企画、制作、会場設営、運営および進行 2. 上記に関わる物品・什器備品の企画、開発、製造、販売およびレンタル 3. 土木ならびに建築の設計監理および施工 4. 警備業 5. 上記に附帯する一切の業務 		
正社員数	387名	拠点数	27

取締役会 メンバー	代表取締役社長	稲葉	利彦
	専務取締役	田代	剛
	常務取締役	鎌田	義次
	常務取締役	生田	茂
	取締役	宮田	一哉
	取締役	堀貴	貴司
	取締役	松田	英彦
	社外取締役	野末	正博
	常勤社外監査役	松井	敏彦
	監査役	水越	潤
社外監査役	奥田	かつ枝	

主要業績指標の推移

		15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	
主要業績指標	売上高	百万円	10,361	10,742	12,272	12,607	11,975
	営業利益	百万円	381	422	575	593	474
	売上高営業利益率	%	3.7	3.9	4.7	4.7	4.0
	当期純利益	百万円	254	271	378	379	308
株価指標	株価純資産倍率 (PBR)		0.4	0.3	0.8	0.7	0.8
	株価収益率 (PER)		9.5	6.2	13.7	12.5	12.7
収益性	総資産当期純利益率 (ROA)	%	4.0	4.1	5.5	5.1	6.1
	自己資本当期純利益率 (ROE)	%	6.3	6.5	8.5	8.0	6.2
	1株当たり当期純利益 (EPS) ※	円	92.68	99.17	138.02	138.35	112.46
生産性	社員数	人	366	376	378	385	387
	社員1人あたり売上高	千円	28,311	28,570	32,467	32,746	30,944
	社員1人あたり営業利益	千円	1,043	1,124	1,522	1,542	1,226
利益還元方針	年間配当 / 株※	円	22	30	40	41	42
	配当性向	%	23.7	30.3	28.9	29.6	37.3

※2016年10月1日付で2株を1株に併合しているため、各事業年度の期初に併合したものととして算出

株式の状況

発行可能株式数	11,000,000株
発行済み株式数	2,851,750株
株主数	1,260名

株主メモ

証券コード	9625
1単元の株式数	100株
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月中
配当金受領株主 確定日	期末配当金3月31日

大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率
株式会社スマイル	550,000	19.91%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	268,700	9.73%
セレスポ従業員持株会	249,250	9.02%
三木 征一郎	77,862	2.82%
東海東京証券株式会社	73,400	2.66%
稲葉 利彦	59,918	2.17%
衣笠 純	47,300	1.71%
北原 美子	47,300	1.71%
丸山勇	30,000	1.09%
株式会社三菱UFJ銀行	27,500	1.00%

※当社は、自己株式を89,546株保有しておりますが、上記株主からは除外しております。
 ※持ち株比率は自己株式を控除して算出しております。

株式会社セレスポ

170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5

TEL : 03-5974-1111

FAX : 03-5394-7651

URL : <http://www.cerespo.co.jp/>

担当部署 : コーポレート本部

連絡先 : ir@cerespo.co.jp